

市政を問う 一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をたずねることです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、24人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

(政和)=政和会

(公明)=市議会公明党

(フォ)=フォーラム小平

(共産)=日本共産党小平市議団

(緑ネ)=緑・ネット

行政一般

市民便利帳などの市民への配布物について

藤原哲重議員(フォ) ①市民便利帳を全戸配布する予定は。②ファイル保存ができるよう穴をあけることはできないか。③各課で保存版と言われる冊子の種類は。また、保存しやすいように工夫できないか。

市長 ①転入者用に印刷しており、紛失した場合などは秘書広報課窓口等で配布している。全戸配布は市制50周年といった節目のときに検討したい。

②今後検討していきたい。
③15種類ほどあり、できる工夫があるか検討したい。

教育委員長の退任に政治的圧力はなかったのか

鴨打喜久男議員(政和) ①市長は議員からの政治的圧力を受けて退任させたのか。②市長及び議会の申し合わせで任期は3期70歳までを原則としているが、その対象でない教育委員長をなぜ退任させたのか。③再任しないと決めた手前は。市長 ①あくまでも任期満了によるものである。

②1つの目安として参考にしているが、あくまでも任期は4年である。
③民主的な手順で進めたと考えている。

市長部局と教育委員会の関係は正常なのか

宮寺賢一議員(政和) ①新規事業の実施に当たり、なぜ市長

部局は教育委員会の申し出を認めなかったのか。
②このような事案はほかになのか。

教育長 ①教育委員会と市長部局の間に特に意見や考えの違いはないが、調整が十分に行われていなかった。一度は実施を見合わせた。さらに検討し市全体としての調整が整ったため、事業を進めることとした。

②国のモデル事業等、市の予算に計上されない事業があるが、一定のルールの中で市長部局と検討、調整をしていく。

食の安全について

滝口幸一議員(フォ) ①公共施設に納入される食品をチェックする仕組みは。②小平産の農産物を安全な食品としてPRしては。教育長 ①小・中学校では市で定めた基準書に基づき選定・調達し、食材により製造元の証明書提出を義務づけている。

市長 ①保育園では市の基準書に基づいて納品するよう指導し、公共施設の売店等では民間業者が適切に対応している。

②農業生産に関する情報提供や農業と市民の交流機会を広げ、PRに努めていきたい。

選挙の開票事務の時間短縮は図られたか

齋藤貴亮議員(フォ) ①平成16年の参議院議員選挙と比較して投票者総数と投票率は。②不在者投票を含む期日前投

票の数と率は。
③開票事務従事者数と費用は。④時間短縮は図られたか。
選挙管理委員会事務局長 ①投票者総数は4千3百90人、投票率は1・68ポイント増加した。②2万6百44人で、当日有権者の14・2%に相当する。③従事者数は65人減の331人で、時間短縮分を含めて約20万円削減された。

④前回より70分短縮できた。

住居表示の今後の取り組みについて

宮崎昭夫議員(政和) ①現状での進め方は。②課題は何か。③今後の考えは。

市長 ①未整備地区を対象に住居表示地域懇談会を開催しており、寄せられた意見を本年の秋に開催する審議会に報告し、答申をまとめてもらう。

②今後整備する地域は町境や町名の変更等を伴う地域が多く、また面積が大きい地域は適切な規模の地割りを検討する必要があると考える。

③市民の意向を十分に反映し、積極的に取り組みたい。

姉妹都市小平町との友好関係について

齋藤貴亮議員(フォ) ①姉妹都市関係を結んだ効果は。②第三次長期総合計画では個人レベルで友好を深める段階とあるが、今後の考えは。③小平町が移住定住事業に取り組む場合、協力できるか。

市長 ①少年少女交歓交流事業や市民まつりでの小平町特産物の販売など幅広く交流し、効果



小平町で化石発掘体験(少年少女交歓交流事業)

は大きかった。
②個人レベルでの交流を推進しながら、交流30周年を迎えるに当たり新たな交流事業ができるか模索している。

市民参加や地域活動の活性化にインターネットの活用

日向美砂子議員(緑ネ) ①ホームページの全面リニューアルが目指すものは。②計画や条例づくりなど、市民参加の手段としての活用は。③情報発信における各課の共通認識は。

市長 ①わかりやすい分類名を初め、検索機能の充実等、見やすく検索しやすいものとする。

②ホームページに素案を掲載し、電子メールなどで意見をもらい参考にしていく。

③最新情報の掲載、迅速な対応に努めている。

e都市ランキング37位とホームページリニューアルについて

永田政弘議員(政和) ①ランクアップの感想は。②今後の課題は。

③市役所屋上にライブカメラを設置してどうか。
市長 ①情報通信技術革新を積極的に採用したこと等によるもので、結果に一喜一憂せず着実に電子市役所を推進したい。

②アクセシビリティの分野だけに減点になっており、10月中に予定している全面リニューアルの中で改善していく。

③現在は考えていないが、研究していきたい。

小平市の魅力づくりと情報発信について

石毛航太郎議員(フォ) ①観光に対する取り組みは。②国際交流の推進体制は。③魅力ある政策をつくり上げるための職員の育成は。

市長 ①小平グリーンロードを積極的にPRし、観光農園を初めとする新たな観光資源の育成等に努めている。

②行政、市民、各種団体等が協働し、小平市国際交流協会が中核となって推進している。

③市独自の研修や外部機関等の研修により、能力開発を図っている。また、都への職員派遣や、西東京市との相互派遣も行っている。

個人情報の適切な扱いについて

西 克彦議員(共産) ①災害時に移動等が困難な人の情報を民生委員等は把握しているか。②学校等のPTA名簿がなくなったが、個人情報保護法の趣

旨とは違うのでは。
③法の趣旨をPRしては。
市長 ①民生委員は担当地域のひとり暮らし高齢者の状況を把握している。

教育長 ②利用目的を明示し本人の同意を得ていれば、これまでも同様の扱いが可能であると理解している。

市長 ③内閣府で市町村を通じ広報、啓発に取り組んでいる。

小平市非核平和都市宣言にふさわしい条例づくり等について

佐藤 充議員(共産) ①宣言にふさわしい条例づくりを検討してはどうか。②戦争に関する資料や遺品などを市で管理できないか。

市長 ①市民が自主的・自発的に行動を起こすことで平和への流れが広がると考えているので、現在、条例は考えていない。

教育長 ②図書館では戦争に関する資料を収集して資料提供に努めている。民具庫では寄贈された資料や遺品を、鈴木遺跡資料館では出土した陶磁器等を一部保管・展示しており、特化した管理は現在、考えていない。

自治基本条例は本当に必要なのか

佐野都夫議員(政和) ①条例がなぜ必要なのか、改めて市民の議論はなかったのか。②多くの市民参加でつくるといふ趣旨をどう実現するのか。③条例制定に向けたタイムスケジュールは。

市長 ①市民の会議メンバーの募集説明会等では、条例の必要性に否定的な意見はなかった。現在、市民の会議では必要性に

ついての意見交換はある。
②市民の会議が意見交換会で不特定多数の意見や要望を幅広く集めることを予定している。

③平成20年3月末をめどに、条例案を提案してもらう。

自治基本条例の作成を中止し地方自治基本法(仮称)の制定を

宮寺賢一議員(政和) ①長期総合計画と自治基本条例との関係はどのようになるのか。②条例を作成する理由は。③地方自治基本法(仮称)の制定に努力し、条例の作成作業を中止すべきでは。

市長 ①それぞれがともに今後の市政運営を進める上で重要な役割を果たすものと考えている。

②地方分権の時代にふさわしい市の自治を模索する象徴的な取り組みと考えている。

③地方分権の時代には、自治の基本的原理やルールを地域ごとに考えるということが重要であり、条例づくりは進めたい。

市行政にはいわずゆる申請主義による弊害はないか

佐野都夫議員(政和) ①申請があった場合となかった場合の事務量の差が大きい事業は。②苦情を事前に減らす努力は。③民間の発想や意識改革を研修する機会をふやしては。

市長 ①現在の研修にはコスト意識等、民間の発想が組み込まれていないので、今後も実施していく。